

# 地 域 再 生 計 画

## 1．地域再生計画の名称

人と自然が生きづくまちづくり再生計画

## 2．地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県、埼玉県秩父郡横瀬町

## 3．地域再生計画の区域

埼玉県秩父郡横瀬町の全域

## 4．地域再生計画の目標

横瀬町は、都心から70km圏域にあり、埼玉県の西部、秩父地域の東に位置し、秩父のシンボル武甲山をはじめ、武川岳・二子山・丸山など1,000m前後の奥武蔵高原と秩父市境の丘陵に囲まれ、秩父札所の6ヶ寺や、秩父絹発祥の地として知られる「城谷沢の井」などの史跡と四季折々の果物が楽しめる観光農園や温泉に加え、新名所となった羊山公園の芝桜の丘に隣接しており、自然・歴史・文化等多くの観光資源に恵まれた地域である。

当町の全面積の82%を森林が占め、林業は昭和30年代までは町の基幹産業の一つであったが、経済の国際化による外材の輸入による木材価格の低迷、林業従事者の高齢化と後継者不足等により林業は衰退し、手入れ不足の森林が増加し荒廃が進み、各種の災害の要因となることが危惧され地域の課題となっている。

また、交通は西武秩父線が池袋より特急80分で横瀬駅まで接続しているとともに、国道299号が町を横断し、一日平均の交通量は平日で11,000台、休日は13,000台の通行量があり、平日は武甲山の石灰石採掘に伴う大型トラックの通行が26%を占めている。

このような条件が相まって、都市部から手軽な行楽地として年間を通して多くの観光客が訪れ、特に秩父市境の国道と県道の重なる坂氷交差点は朝夕の通勤・通学時及び休日は大変な渋滞となり、迂回路として利用される町道の整備が遅れているのが大きな課題となっている。

さらに近年は羊山公園の芝桜の丘が観光名所となり、4月上旬から5月の連休までの1ヶ月間に100万人もの観光客が訪れるため、入口となる当町坂氷交差点及び周辺町道は大きな影響を受け、生活にも支障をきたしている。

坂氷交差点のある姿地区内の道路の大半は、昭和60年度から62年度にかけて農業基盤整備により造られた道路のため、路盤や舗装等の構造が一般道に比較し脆弱であるとともに、路肩や水路の整備がなされておらず、一般車輛の通行に支障をきたしている。また、国道の通行を避けるため、歩道等の拡幅改良が未整備な町道に迂回する車輛が大変多く、児童・生徒や高齢者等に大変危険な状況であり早急な整備が必要となっている。

このような状況をふまえ、当地域は地理的なメリットを活かし、恵まれた地域資源を有効活用すべく、首都圏域からのアクセス道としての国道299号及び県道熊谷・小川・秩父線の整備を促進するとともに、これらを補完する町道や林道を新たな道路ネットワークとして計画的に整備し、住民と観光客の安全と利便性の向上を図る。

これらの方策により、都市部からの観光誘客による交流と、地域における人と物流を活性化させるとともに自然と森林の保全管理を促進し公益的機能を高め「人と自然が生きづくまちづくり」の実現を目指す。

- (目標1) 町道の整備による交通障害箇所の解消(危険箇所3箇所の解消)
- (目標2) 広域的な観光客の誘客(観光入込客数平成17年度636.4千人を700千人に増)(11%増加)
- (目標3) 道路交通による秩父市へのアクセス向上(休日及び朝夕渋滞時に生活圏域である秩父市へ、大字横瀬地区から3分短縮の移動を目指す)
- (目標4) 林道による自然環境の保全と地域環境の改善(間伐の推進500ha、下刈り7.5ha、枝打ち5ha、林道のゴミ清掃10回)

## 5. 目標を達成するために行う事業

### (5-1) 全体の概要

自然・地理・交通・観光等多くの条件に恵まれた当町の特性を最大限に活用し、既存の札所等の歴史・文化、史跡や観光農園、温泉施設や道の駅等の拡充を図るとともに、新たなる戦国時代の城址公園の整備など、観光拠点づくりや四季折々の味の開発や新規イベントの開催、観光のネットワーク化を進め総合的な観光地化を推進する。

当町を横断する国道299号と縦断する県道熊谷・小川・秩父線に縦横に網羅する町道と林道を一体的に整備し、観光施設間のアクセスの向上や交通障害箇所の解消と生活の安全性の向上、物流の効率化、公共施設や避難場所への到達時間の短縮を図る。

これらの事業の取組、実施により交通アクセスの向上、生活・教育・医療・福祉の充実、四季折々の観光資源や多様なイベントの拡充による誘客対策、森林景観の整備による環境の保全等様々な分野に効果が波及し、本計画の目標である「人と自然が生きづくまちづくり」が実現できるものと期待される。

### (5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

#### (1) 道整備交付金を活用する事業

[ 施設の種類(事業区域)、実施主体 ]

・町道(大字横瀬地内)横瀬町

(昭和62年3月13日認定)

・林道(大字横瀬、大字芦ヶ久保地内)埼玉県、横瀬町

(平成14年12月27日地域森林計画記載)

[事業期間]

・町道(平成19年度から23年度)、林道(平成20年度から23年度)

[整備量及び事業費]

・町道1,964m、林道6,020m

・総事業費 443,800千円

町道 357,800千円(うち交付金 178,900千円)

林道 86,000千円(うち交付金 38,040千円)

(5-3) その他の事業

(1) 既存施設の拡充

当町には、国道299号沿いの西武秩父線芦ヶ久保駅前に平成16年3月16日にオープンした道の駅「果樹公園あしがくぼ」がある。当施設は、前面は芦ヶ久保果樹公園村の畑と山林に横瀬川の清流、後ろは芦ヶ久保駅と山林に囲まれた地理や自然の環境に恵まれた中に建設されたため、開設当初の平成16年度には437千人が利用し、平成17年度には休憩施設と陶芸体験施設等を整備したことにより、528千人が利用し、対前年比120.8%増となり、売り上げも107%の増加となっている。今後も「そば・うどん打ち体験教室」、「陶芸教室」の充実、プラムまつり、サマーフェスティバル、新そばまつり、オープン記念等のイベントを拡充するとともに周辺ハイキング道の整備、観光農園の拡充、案内板等の整備を実施し、観光拠点としてさらに充実を図る。

また、武甲山をはじめ多くのハイキング道や案内板の整備、四季折々の自生の花が楽しめる「山の花道」と県下最大級の寺坂棚田のコスモス等、花を生かしたイベントをより充実し、日帰り温泉施設、四季折々の果樹やそば・うどん等のふるさとの味が楽しめる観光農園、地場産の取りたて農産物が並ぶ直売所等のさらなる充実を促進し誘客対策の向上を図る。

(2) イベントの開催

年間を通してイベントを開催し、積極的なPR活動を行い、観光入り込み客の増加に創意工夫をする。

1月16日 札所九番安産祈願

1月下旬～3月 芦ヶ久保松枝座禅草開花

3月下旬～4月中旬 山の花道カタクリまつり

4月第1日曜日 宇根八坂神社例大祭

4月15日 里宮社神楽

5月1日 武甲山山開

7月中旬 プラムまつり(道の駅)サマーフェスティバル

8月16日 芦ヶ久保白髭神社獅子舞

札所九番安産祈願

10月1日 武甲山祭典里宮社神楽

10月最終日曜日 よこぜまつり  
10月 寺坂コスモス開花  
11月中旬 新そばまつり 道の駅  
他にも各地域での祭り等多彩なイベントを開催していく。

(3) P R の実施

インターネットによるホームページに掲載する他イベントDVDを作成し、道の駅で放映するとともに観光パンフレットを作成し各案内所等に周知する。

(4) 間伐・下刈りの推進による森林の公益的機能の回復と景観の保全

間伐・下刈りを推進し、森林の持つ公益的機能の回復と景観の保全を図る

(5) 自然環境の保全

埼玉県、横瀬町、町内各種団体等町民に呼びかけ、国県道、町道、林道及び河川の清掃活動を定期的実施し自然環境の保全に努める。

**6 . 計画期間**

平成19年度～平成23年度

**7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握するとともにモニタリングを行い、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

**8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項**

該当なし